

九州技術事務所

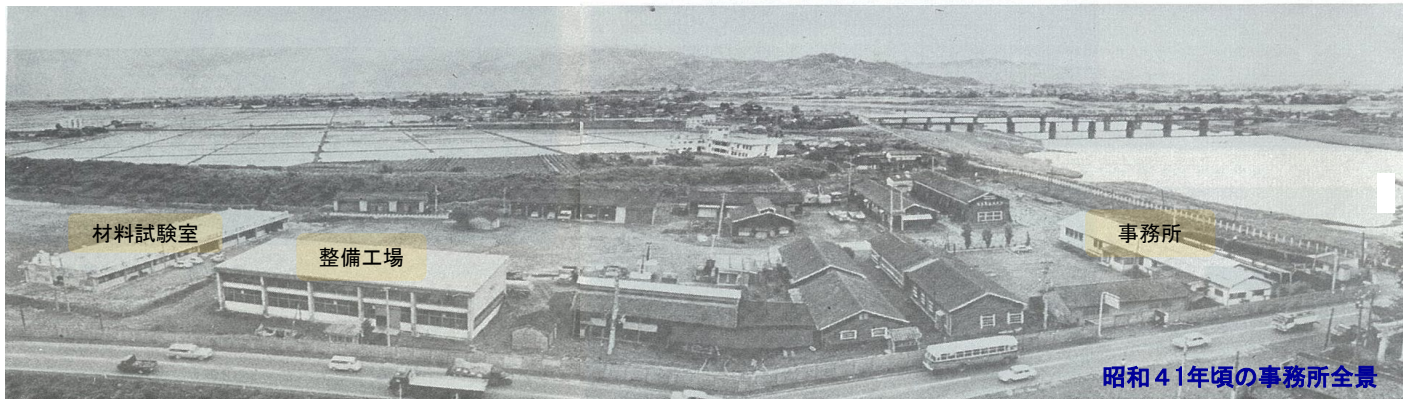
九州防災・火山技術センター

事業概要



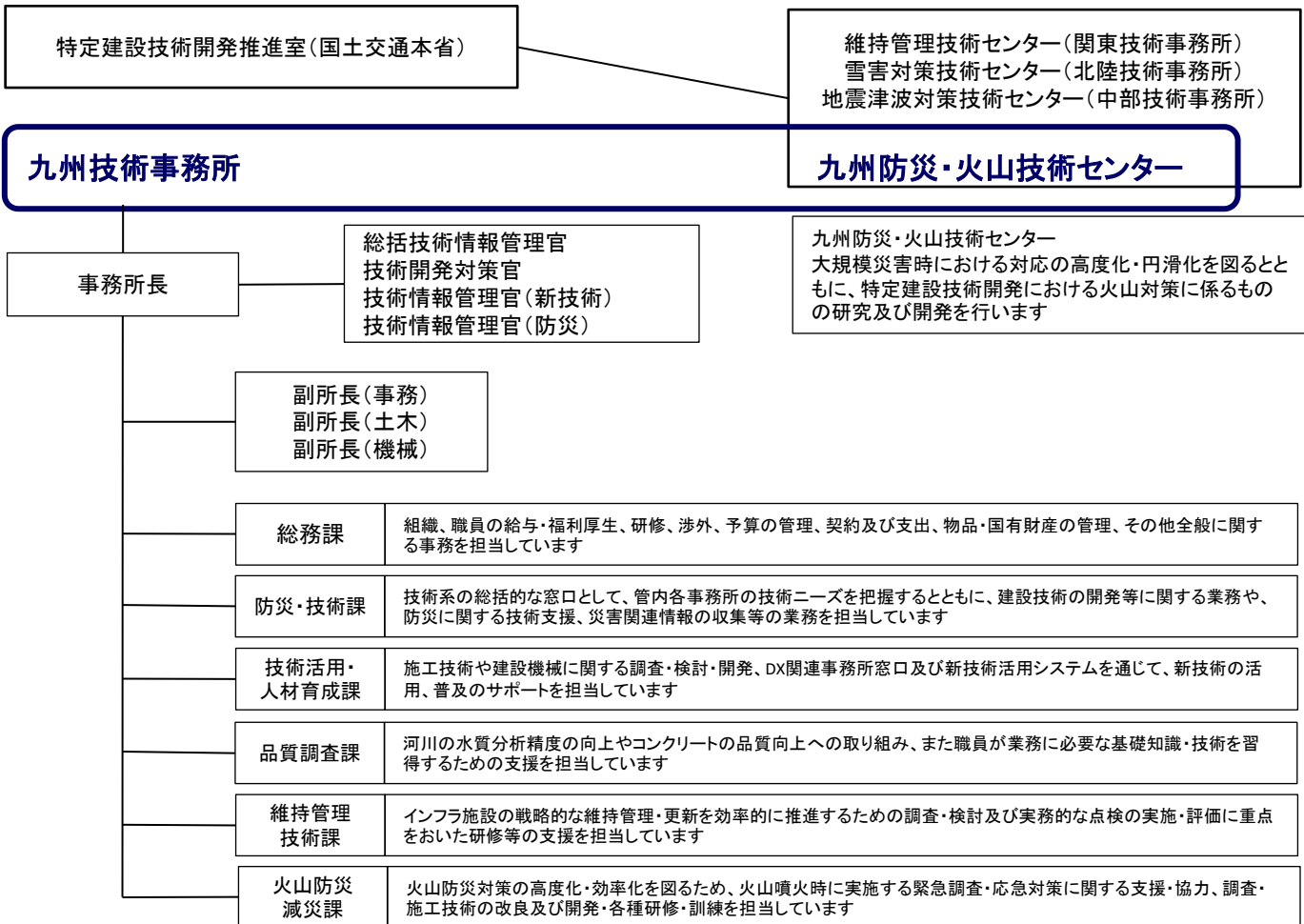
九州技術事務所の歩み

- 昭和25年 4月 「久留米機械整備事務所」設置
- 昭和39年 7月 「久留米機械整備事務所」を「久留米機械事務所」に名称変更
- 昭和41年 4月 「九州地方建設局 鳥栖材料試験出張所」と「久留米機械事務所」を合併
「久留米技術事務所」となる
- 昭和46年10月 「久留米技術事務所」から「九州技術事務所」へ名称変更
- 昭和50年 3月 「研修所」完成
- 平成24年 4月 「九州防災センター」新設
- 平成25年 7月 「九州防災センター」が拡充され「九州防災・火山技術センター」新設
- 令和 3年 4月 「研修所」が拡充され「九州インフラDX人材育成センター」新設



昭和41年頃の事務所全景

九州技術事務所の組織



施設①土木構造物体験施設(橋梁他)

見て・触れて・感じることができる『土木構造物体験施設(橋梁他)』です。
室内講義と一体的な実習を行うことで、効率的な研修が実施できます。



『橋梁モデル』
実際に使用していた橋を活用



全景



『ボックスカルバートモデル』
損傷事例を見える化

施設②研修用堤防施設

河川堤防施設を使って、室内講義と一体的な実習を行うことで効率的な研修が実施できます。



全景



特殊堤の傾き



護岸の破損

施設③バリアフリー体験施設

車いす体験、白杖体験、高齢者疑似体験の3つができます。

車いす
体験



歩道の段差を体験
【小学生】

白杖
体験



階段の上り下りを体験
【福祉関係者】

高齢者
疑似体験



階段の上り下りを体験
【小学生】

施設④開発機械試験場

公共事業の現場における技術的課題や技術発展のため、技術開発に取り組んでいます。



大型ブロック等をつかむ
重機用アタッチメントの開発



コンパクトで遠方照射能力の
ある照明装置の開発



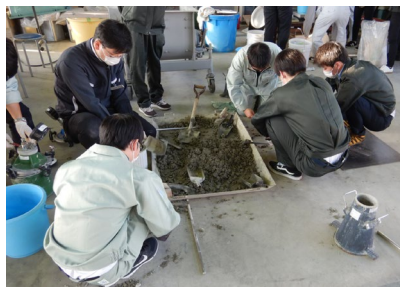
橋梁点検昇降装置の開発

施設⑤室内実験場

九州地方整備局の若手職員等を対象に、室内実験場にある各種試験器具を活用し、土木の基礎技術に関する講習を行っています。



小型水門の操作実習



コンクリート現場配合実習



水質実習(油種判定)

施設⑥災害対策用機械格納庫

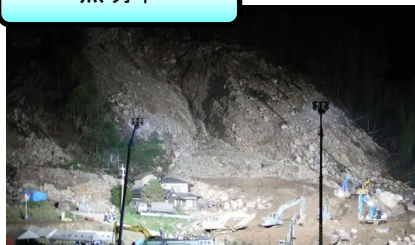
いろいろな災害対策用機械を保有し、災害発生時は被災地へ迅速に出動します。
九州地方整備局管内だけでなく、自治体や他の地方整備局等への支援も行います。

排水ポンプ車



ポンプで排水し浸水被害を軽減

照明車



夜間復旧現場を明るく照射

情報収集車
(Car-SAT搭載)



被災情報を収集

対策本部車



車両を拡幅し現地での対策拠点

衛星通信車



災害現場の通信拠点

待機支援車



休憩、仮眠スペースを確保

九州技術事務所の役割・仕事

●新技術活用【NETIS】

(新しい建設技術を普及させる取組)

民間事業者等により開発された、新技術の活用促進のための業務を行っています。



【新技術・新工法説明会開催状況】

●技術開発・調査

(建設現場の効率的な推進に関する取組)

建設機械類の改良、河川・道路に係る調査等、建設技術に関する開発・調査を行っています。



【簡易遠隔操縦装置】
ロボQS



建設 技術

建設分野の 生産性向上

●危機管理 ・防災

大規模災害における応急
対策支援を行っています。

防災 技術

人材 育成



【計画研修風景】

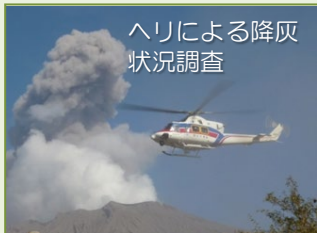


【全国から集結する災害対策用機械の中継基地機能】



【浸水区域の緊急排水作業(R1.9 佐賀県大町町)】

●火山防災



ヘリによる降灰
状況調査



現地降灰状況調査

●計画研修

基礎・専門技術講習会

計画研修及び基礎・専門技術講習会を運営し人材育成に
取り組んでいます。



【基礎技術講習会風景】



【専門技術講習会風景】

●小型無人機操作訓練

遠隔操縦式バックホウ操作訓練



小型無人機
(ドローン)



ラジコン送信機

【訓練風景】

人材育成

九州インフラDX人材育成センター

●インフラDX人材の育成の場

- ・九州技術事務所研修所を改修し、人材育成センターを構築
- ・BIM/CIM研修をはじめ、官民のインフラDX人材を育成

●現場での実践を意識した体感スペース

- ・無人化機械の遠隔操作および操作シミュレータ体験
- ・ICT建機の操作体験
- ・没入型ドームスクリーンを用いたVR体験
- ・ハイスペックPCを用いたBIM/CIM研修、VR研修 等

※インフラDX(デジタルトランスフォーメーション)とは:
インフラ分野においてデータとデジタル技術を活用して、
業務や働き方を変革し、安全・安心で豊かな生活を実現すること



●研修ルーム



【河川堤防点検VR】



【没入型ドームスクリーン】

●屋外実践フィールド



【無人化施工シミュレータ】



【ICT建機・無人化施工操作体験】

国土交通省九州地方整備局
九州技術事務所
九州防災・火山技術センター



九州技術事務所では災害対策車及び所内施設等の視察受け入れを行っています。

詳しくはホームページをご確認下さい。

〒830-8570 福岡県久留米市高野1丁目3番1号

TEL(0942)32-8245 FAX(0942)32-8295

E-mail gqr-kyugi@mlit.go.jp

ホームページアドレス <http://www.gqr.mlit.go.jp/kyugi/>

Facebook <http://www.facebook.com/kyugi.mlit.go.jp>





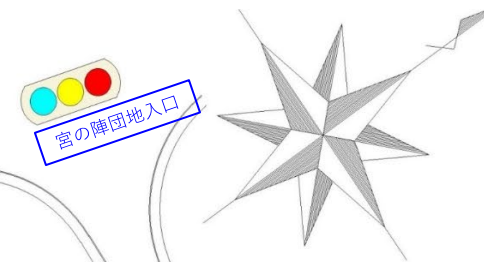
国土交通省
筑後川河川事務所

【新技術（防草技術）のモデル施工】
新技術の活用促進を図るため、実際の施工状況がわかるように防草技術のモデル施工を実施しています



【レトロブルドーザ】
戦後の復興期に活躍し、その大任を果たした、国産機械として初期型のブルドーザ

【航空写真】
ドローンにて撮影した航空写真



【研修所】
職員等の研修を実施し、技術力の向上を図る
※地方公共団体職員等の方が受講できる研修もあります



【九州インフラDX人材育成センター】
BIM/CIM研修やVR研修をはじめ、官民のインフラDX人材を育成



【防災室】本館3F
災害対策本部（九州地方整備局）のバックアップ機能



【応急組立橋】
災害時に落橋した橋の代替として使用